

観察社会学という構想

-マンチェスター学派の、あるエスノメソドロジストの遺言-

国際基督教大学 岡田光弘

1 目的 この報告の目的は、先頃、邦訳が出版された『エスノメソドロジーへの招待』の著者の一人であり、この春に亡くなった、マンチェスター学派のエスノメソドロジスト、S.Hesterの「観察社会学」という構想について明らかにすることで、代替的な社会学としてのエスノメソドロジーの姿を示すことである。邦訳された『エスノメソドロジーへの招待』にも、それを示す記述がある。ちなみに同書は、完成の直前まで『観察社会学への招待』として出版されるはずのものであった。

2 方法 そこで、データとして『観察社会学への招待』の第二章となるはずだった草稿「観察社会学」について、「観察」という概念を中心に、その論点を示し、その構想と可能性について明らかにしていく。英国において、L.Wittgenstein と P.Winch に依拠して、社会学という営みを作り出してきたマンチェスター学派のエスノメソドロジーの歴史がこれに重なる(Button 1991,Cuff et al.2006)。

3 結果 分析の結果、「観察社会学」は新たな社会学の可能性を提示しているということが明らかになった。Winchは「社会関係を内面的・概念的なものとし、相互行為には『概念が含み込まれている』とし、(中略)したがって、言語によらない行動も言説的な概念を表しているものと語ることができる」(Winch 1958=1977:158)とする。すでに報告者はエスノメソドロジー研究を「場面に可視性を与え、秩序を生み出している方法を記述すること」(前田ら 2007:58)であるとしたが、「観察」こそが、エスノメソドロジーの基礎なのである(cf. Button & Sharrock 2009)。

さて、実証主義あるいは科学主義的な社会学においては、社会学は理論に依存しない観察を単位とする知見を蓄積することができるとされ、その個々の結果を因果的に説明できる理論を構築することが社会学の役割となっている。観察を理論と相関的 (Theory-Laden) なものだと考えた場合でも、その観察のネットワークが、事実と整合し、予言力を持つことが求められるだろう。そして、この両者において、観察は、その背後に想定される一般性を導くための資源であり、そうした一般化をするのは、社会学者なのである(Hughes & Sharrock 1997,2007)。

4 結論 以上から、Winchらの立場を真剣に受け止めた(Anderson et al.1986)、Hesterの「観察社会学」という構想は、その場の誰でもが観察できる、概念に基づいた (Concept-Laden) 行為(Coulter 1989:31)を研究する、これまでの社会学に代替的な社会学の提案であることが分かった。

文献

- Anderson,R.J.,Hughes J.& Sharrock,W.1986 Philosophy and the Human Science.Barnes & Noble.
 Button,Graham(ed.) 1991 Ethnomethodology and the Human Sciences. Cambridge.
 ----- & Sharrock,W.W. 2009 Studies of Work and the Workplace in HCI. Morgan & Claypool.
 Coulter,Jeff, 1989 Mind in Action. Polity.
 Cuff,E.C.,Sharrock,W. & Francis,D. 2006 Perspectives in Sociology 5TH EDITION. Routledge.
 Francis,David.& Hester,S. 2004 “An Invitation to Ethnomethodology.” Sage = 2014 中河・岡田・是永・小宮 (訳) 『エスノメソドロジーへの招待』 ナカニシヤ
 Hughes,John,A. 1980 The Philosophy of Social Research. Longman.
 ----- & Sharrock,W.W. 1997 The Philosophy of Social Research 3RD EDITION. Longman.
 ----- 2007 Theory and Methods in Sociology. Palgrave Macmillan.
 前田泰樹・水川喜文・岡田光弘 (編) 2007 『ワードマップ エスノメソドロジー』 新曜社
 Winch,Peter 1958 The Idea of a Social Science and its Relation to Philosophy. Routledge.=1977 森川 (訳) 『社会科学の理念 ウィトゲンシュタイン哲学と社会研究』 新曜社